

道南

発行 2010年8月1日
発行所 北海道道南会事務局
連絡所 横浜市鶴見区生麦
4-9-13-803
TEL 045-505-9709
FAX 045-505-9709

我がふるさと七飯町 りんごのふる里

道南会副会長 葉袋 泰



はつきり感じられる良好な自然環境を有しており、肥沃な土壌にも恵まれ、明治時代には西洋農業の試験場なども建設され北海道開拓の基礎となる西洋農業発祥の地と言われております。

大沼国定公園は、夏の湖水まつり、秋の紅葉まつり、冬の雪と氷の祭典と四季折々にイベントがありまた、新井満さんの訳詞・作曲による名曲「千の風になつて」の誕生の地として知られ、今年2月に第2回「千の風サミット」千の風音楽祭が大沼で開催されました。

町の木は、「あかまつ」。
町の花は、「りんごの花」。

西洋りんご栽培発祥の地

日本で、西洋りんごを初めて栽培したのは、実は日本人ではなく江戸時代末期に函館を訪れていたプロシア人(現ドイツ)のR・カルトネルという人物。彼は、明治元年に勃発した箱館戦争の最中、西洋農業による開墾の為に30万坪という広大な土地を99万年にわたって借り受ける「七重村開墾条約」という契約を蝦夷地を占領していた榎本武揚らと交わすことに成功し、この条約によって、現在の七飯

町の大部分が、彼の農場用地となりました。本格的な開墾は、翌明治2年から始まりましたが、カルトネルは、西洋りんごをはじめ、洋梨、グスベリー、カーレンツ、桜桃、ブドウなどの苗木22種を海外から取り寄せ、これまで日本では見られなかった西洋式の大規模農具も持ち込み、開墾、栽培に着手。今のところ、この西洋式の大規模農具を用いた農法が日本で初めて行われたと考えられる事から、七飯町は日本における近代農業発祥の地をうたっています。

明治3年、明治新政府は、カルトネルの農場を足がかりに、北海道、そして日本が列強国の植民地となる事を恐れて、多額の賠償金を支払い、カルトネルを帰国させます。カルトネルから取り戻した土地を七重開墾場とし、開拓使によって本格的に開墾。この開墾場は通称「七重官園」と呼ばれ、カルトネルの植栽したりんご68本も引き継がれました。その後、明治5年、9年にかけて、開拓使がアメリカ・カナダから取り寄せた42万本の果樹苗木の内、りんご苗木は75種84,239本といわれます。この輸入りんごの中には、日本の基幹品種「紅魁」「祝」「紅玉」「国光」が含まれていました。明治10年、青森県のりんご栽培の先駆者といわれる菊池楯衛が七重官園でりんご栽培を学び、その後、楯衛が青森県でりんご栽培を広めた歴史もあり、青森県は日本を代表す

る産地となりました。明治27年、七重官園が完全に廃止となってからは、民間果樹園での栽培が広がりましたが、第2次世界大戦時には、政府の作付統制令により、多くのりんごの木が伐採されるといふ危機もありました。終戦後、りんご園の建て直し運動が盛んに行われる一方で、接木法による品種更新、花粉の交配育成による新品種の研究など新たな栽培技術が精力的に続々と開発されはじめ、たむらりんごをはじめ多くの品種が作られるようになりました。日本における西洋りんご栽培の発祥地である七飯町では、今、多くの果樹園が町の特産物であるりんごを栽培しています。七飯町では、平成21年5月15日、西洋果樹栽培140周年を記念して、りんごを語る会が開かれ、町歴史館学芸員から、栽培から果樹が普及した経緯などの説明、生産者の長老達からりんご生産にまつわる伝聞や思い出話が語られました。

身近な応援団・ふるさと会

ふるさとの身近な応援団として、首都圏には、東京ふるさと七飯会、「東京大沼会」の二つのふるさと会が活動しております。今年七飯会は21回目、大沼会は8回目の総会・懇親会が開催され、中宮町長、竹田副町長等が出席され会員との交流が図られました。益々の発展を祈り活動を続けて参ります。

函館市の動向について

函館市長 西尾 正範

本年は、北海道道南会の創立から50周年という大きな節目を迎える年と伺っております。貴会が半世紀という長きにわたり、「ふるさと道南」を心の絆として、固い結束のもと、隆盛の一途を辿って来られましたのも、ひとえに歴代会長、役員各位のご努力の賜と存じ心より敬意を表します。

函館市といたしましても、2010年は、昨年の開港150周年を踏まえ、次なる新しい時代に向け、しっかりと第一歩を踏み出す大切な年であり、さらに、まちの未来を大きく変える、二つの記念すべき出来事が連続する年でもあります。

【幕末維新」と箱館奉行所】

一つ目は、皆様ご承知のとおり「箱館奉行所」の復元・オープンです。

その歴史を振り返りますと、江戸幕府は、日米和親条約を1854年（安政元年）に締結した後、箱館奉行を設置し、北方警備や蝦夷地開拓に当たらせました。当時、御役所は函館山の麓、元町公園の辺りに建てられておりましたが、港から砲撃を受ける危険に備え、防衛上の観

点から内陸部に移転することになりました。

設計は、蝦夷地初の学問伝習所である諸術調所教授、武田斐三郎が手掛け、五稜郭の築造工事は1857年（安政4年）に開始されました。正確な五角形の土塁を備え、西洋式の優美な姿を誇る五稜郭の築造は、大阪の緒方洪庵に師事し、江戸では伊東玄朴、佐久間象山に航海・築造術を学んだ英才、武田だからこそ出来たことであり、築造工事が無事終わって、奉行所が移転したのは、1864年（元治元年）のことでした。

しかし、郭内の全工事が終了するや否や、その翌年には、皮肉にも大政奉還により、奉行所の建物は明治新政府のものとなり、さらには、1868年（明治元年）、榎本武揚率いる旧幕府脱走軍に占拠されるなど、五稜郭と箱館奉行所は歴史の波に翻弄されながら波乱の運命を辿ります。

そして、1869年（明治2年）、5月11日、新政府軍の攻撃で孤立した弁天岬台場の救援に向かった土方歳三が銃弾に倒れ、翌12日、軍艦甲鉄の放った

砲弾が奉行所の太鼓櫓に命中し、旧幕府脱走軍は降伏。18日には五稜郭が新政府に明け渡されました。

その後、1871年（明治4年）、開拓使の札幌移転に伴い、箱館戦争の一部始終を見守った箱館奉行所は解体され、静かにその姿を消すこととなりました。

時代は移り、明治、大正、昭和、平成と我が国の激動の歴史とともに、函館の街も着実に発展をしていく訳であります。函館市制施行となった1922年（大正11年）には、その文化的価値を認められ、五稜郭は国の史跡に指定されます。そして、先の大戦をはさんで、市制施行30周年となる1952年（昭和27年）、北洋漁業の再開により戦後復興の契機となったその年に、五稜郭は特別史跡に指定されています。

このように、五稜郭は、築造された当初から、函館の歴史とその歩みをともし、このまちの盛衰、行く末を見つめてきました。そして、今夏、その郭内に、いよいよ箱館奉行所が復元されたことで、北海道唯一の特別史跡はかつての完全な姿を取り戻したと言えます。

復元にかける熱意、復元設計にあたっては、発掘調査で出土した瓦や釘、各種の絵図面や文献に加え、一枚の古



写真が大きな役割を果たしました。

この写真が、1868年（慶応4年）に撮影されたもので、バリの骨董店で日本人により発見されました。瓦の枚数を数えられるほど解像度も高く、出土した瓦のサイズと照合することで、建物の各部の寸法も明らかになりました。

実際の復元工事は4年間続きましたが、工事の最大のポイントとは、建物の直下に特別史跡の遺構があるため、土を掘る基礎工事が一切できないことです。これをクリアするために、厚さ25センチのコンクリート盤を設けて基礎としたほか、作業に必要な建物を覆う巨大な鉄骨屋根も、敷き鉄板を基礎にして鉄骨の柱を建てるなど非常な苦勞がありました。

また、江戸の美学を現代に再現し、精密な復元を期するために、全国から選びぬかれた職人が集められました。例えば、床の間の壁は手すきの和紙を何枚も重ねる紙貼りで、茨城県の表具師が作業にあた

り、建物の建築は永平寺の修繕にも携わっている福井県の宮大工が手掛けたところでありました。

さらに、発掘の結果から当時使われていたのは、越前瓦であることが判明したため、こちらも、福井県の瓦組合に発注し、分析により当時の色を再現しましたが、当時は登り窯を使っており、温度管理が徹底されておらず、現代のように、全ての瓦の色を統一することはできなかったはず。そこで、福井県内に残る同時代の建物の色ムラを研究し、4色の瓦を無作為に配置することで、全体の色ムラを再現しています。



この他にも、何層にも塗り重ねられた土壁、青森ヒバの柱、樺の一枚板を用いた格式高い一之間の違い棚、柿の汁を発酵させた柿渋を使った防虫・防腐対策など、徹底したこだわりは枚挙に暇がありません。

江戸時代末期、我が国伝統の材料と技術の粋を集めて建築された「五稜郭の主役」は、140年のときを越え、復元にかける多くの関係者の情熱と現代の名工たちの優れた技能に支えられながら、「この夏、新たな命を吹き込まれ、新しい一步を踏み出します。」

皆様におかれましては、是非また函館にお越しいただき、完成した箱館奉行所の姿をご覧いただければ幸いです。【新幹線が「希望」と「勇気」を運ぶ】

今年予定される二つ目の大きな出来事は、東北新幹線新青森駅の開業です。

函館が北海道新幹線の夢を追いかけ、既に数十年の月日が過ぎました。この間、様々な難局、紆余曲折を乗り越えながら、平成17年には北海道新幹線着工にこぎつけ、そして、本年12月4日には、いよいよ東北新幹線八戸〜新青森間が開業となります。

函館と首都圏との距離が短くなり、また、平成27年度内の

完成を目指す新青森〜新函館間の工事も着々と進捗してまいります。

日本の高速交通体系の骨格として、新幹線が果たす役割は極めて重要であり、沿線都市という点を、一本の太い線で「繋ぐ」ことで様々な波及効果もたらされます。

観光客などの交流人口増加のほか、学術研究、産業、医療をはじめ、様々な分野での地域間交流など、新幹線に寄せられる期待は大きいところであり、一方、地域が汗をかかずに、新幹線さえ開業すれば直ちにまちの発展に結びつくというものでは、当然ありません。地方都市を取り巻く環境は極めて複雑であり、地域間競争に勝ち抜くためには、幅広く知恵を集めながら、産学官が力を合わせ、勇気ある決断とスピードある行動で、あきらめずに邁進するパ



ワーが必要で、そのために今、私たちに与えられた最大の武器が「新幹線」であり、これをいかに上手く活用して、まちづくりにどう生かすかが最大の課題となっております。

当市においては、新青森〜新函館着工直後の平成17年度より、様々な検討会議・組織等を立ち上げ、新幹線開業によるメリットを最大限に生かすべく、地域一体となった取り組みを進め、平成20年11月には、「北海道新幹線開業はこたて活性化アクションプラン」を策定し、観光振興・産業振興・交通アクセスの3つの分野において、具体的な施策を展開しています。

特に、「新青森が開業する本年を「第一の開業年」とし、基幹産業の一つである観光についても、前述のアクションプランに基づき、「楽しめる」「行きたくなる」まちの演出を主眼に、観光振興を図る上で大切な「3つの充実」を図っていきます。

はじめに、「誘致宣伝の充実」です。これまでも、国内外を問わず、食や自然・景観、歴史、温泉といった函館ブランドの情報発信に努めてきましたが、今年度は、「北関東・南東北集中キャンペーン」と銘打ち、新幹線開業により函館までの移動時間が短縮されるこれらの地域にターゲットを絞った集中的なプロ



モーション活動を展開します。「より近くなった函館」をアピールしていくことにより、イメージの定着と具体的な誘客に結びつけて行きたいと考えております。

第二は、「観光資源の充実」です。個人・小グループ化が進む旅行形態の変化や多様化する観光客のニーズに対応したメニューの充実が求められており、これまでも公共交通機関と観光施設入場券を組み合わせた市内周遊チケットの事業化等を行ってきたところですが、今年度は「まちあるき観光の推進」をテーマとした取り組みを進めており、市民の皆様からもアイデア

を頂戴した、まちあるきマップ」を制作するなど、既存観光資源の再活用と、歩いて観光していただくことによる「体感する」観光への進化を図っていききたいと考えております。

第三は、「広域観光の充実」です。本年4月に渡島・檜山地域18市町により構成される「はこだて観光圏」が広域観光圏として国の認定を受け、今後、「食」をテーマとした様々な取り組みを進めていくこととしております。この取り組みは滞在型観光を実現する上で大きな役割を担うものであり、観光入り込み客数が減少している昨今にあって、宿泊数を伸ばすことでの経済波及効果も期待されることから、今後も積極的な施策展開を行ってまいりたいと考えております。

また、青森県との周遊性を高めるための取り組みとして、青函広域観光モデルルート形成も図っていききたいと考えております。これまで以下北地域と連携した観光メニューの実証実験を実施したほか、青函の「食」をテーマとした集客促進事業を進めるなど、青函圏における新たな観光メニューの創出に取り組んでいるところです。

観光客を迎えるために、函館市の取り組みとしては、このように3つの施策の充実が柱となりますが、どれだけ資源

があつても、お客様に安心して
お越しいただき、心から楽しんで
いただくためには、地元での
受入体制が整っていないければ
なりません。

このことから当市において
は、観光客の皆様に対し、安
全・快適な環境を整備し、ゆっ
たりとした時間を過ごすこと
のために、観光案内板等の整備や
観光街路灯の整備・改修に取り
組むほか、外国人観光客への対
応として、全ての観光標識にお
ける英文併記を完了するなど、
着実にその取り組みを進めてい
るところです。

また、豊富な観光資源を生か
すには、市民の皆様が観光に
来た皆様を「お客様」としてお
迎える心を醸成し、さらに観光
資源に磨きをかけることが重要
であると考えております。

これまでも、各種研修会や講
習会等の機会を捉え、ホスピタ
リティの啓発等に努めてきまし
たが、当市が新幹線開業による
メリットを最大限に生かすため
には、やはり「人づくり」が重
要です。その成否が今後の力ギ
を握ると言っても過言ではない
と思ひます。そのためにも、新
青森開業を一つの大きなステッ
プとして、函館が「ホスピタリ
ティあふれる真の観光都市」へ
と進化するための取り組みをよ
り積極的に進めていきたいと考
えております。

随想・雑感

私の函館

道南会会員 中島 利夫
東川小学校出身



保護司を引き受けて

会社勤めも定年を迎える頃、
保護司を引き受けていただけな
いかと、地域の有力者から打診
がありました。その活動内容は、
罪を犯した人が保護観察、執行
猶予、施設を仮出所後の処遇を
巡り、更生指導・助言等を行う
「ボランティア」です。当初は、
私の任ではないと断りましたが、
対象となる多くの人が建設
現場を職場にしているとのこと
でしたので、以前建設作業所長
をしていた頃、各職場の詰所で
週ごとに作業員と品質・工法・
安全等について膝を交えて話し
合う「ツールボックスミーティ

ング」を行ったことを思い出し、
信頼関係を相互に持つことがで
きれば彼らの更生に役立てられ
るか、「トライ」してみようと
考え引き受けたわけです。

夜分遅く月二回の来往を続
け、生活環境や人間関係、仕事
等の助言をします。時に、家内
も同席する「サポート」もあり、
和やかに雑談も重ねます。しか
し、約束を守らず、行方も分か
らなくなっていた人が、再犯で
警察に留置中との知らせにキリ
キリ舞い。無念さを噛みしめた
り、あるいは雇い主より「仕事
中に行方不明となつて、作業に
大きなダメージを受けた。保護
司はどんな教育をしているの
か？」と怒鳴り込まれたりもし
ましたが、保護司定年の七十八
歳までの十五年間に五十人を担
当し、内二十人が建設現場を職
場としたことも幸いし、大半の
人に対し無事任務を果たすこと
ができたのではないかとと思つて
おります。

ボーイスカウトの経験

大正十一年に生まれ、東川小
に通いましたが、家は昭和九年



中島氏東川尋常小5年

の大火により栄町で焼失しまし
た。小学校四、五年生の時、ボ
ーイスカウトに入団し、八幡宮
や水天宮等の祭礼などの交通整
理をしました。ボーイスカウ
トでの団体訓練や奉仕の精神が
根付いて、保護司の仕事に生き
たのではないかと思います。

函館工業で建築を学び、働き
ながら大学へ。本籍が函館故に
旭川七師団に入隊(現役)。北
支に三年間。復員、復学。長い
空隙を取り戻す辛さに苦しみま
した。大学当局の復員兵に対す
る温情で(？)、卒業証書をい
ただき感謝です(余談です)。
国の一級建築士制度が発足し、
早々に選考試験に合格し、勤め
を果したと思っております。

家内は、大正十四年に生まれ、
柏野小から遺愛へ。遺愛在学中
に北京崇貞学園清水安三先生の
教育理念の講演を数回受け、傾
倒した家内談に私も共感。戦後、
中国に学園を接收され、町田・
洲野辺の荒涼たる土地に桜美林
学園を創建するといふ、苦難の
道程を知るに及び国際的教養人
育成に感銘し、次女を入学させ
たものです。英語を好んだせい

もあり、洋上大学大森実学長の
知遇を得、UCLA新聞学教授
宅に寄留、留学の機会に恵まれ
ました。曾孫も桜美林に入学さ
せたい位の思い入れです。家内
は、遺愛で折り、感謝、反省が
身に付いた。私にも影響を与え、
家庭寮で軍国主義を注入され、
船舶運営会、徴用で函館連隊区
司令部に動員され、同時代の困
難を乗り越えた想いを共に語り
合っております。

昭和十四、五年頃、五稜郭史
跡館(現・道新)の裏手に居住。
ゲートルを巻き、公園の堀で行
われている氷の切り出し作業を
横目で見ながら、松林の道を通
学。また、新川の上流の「スツ
ポン、カッポン」や水門の水流
を飽かず眺め、本を抱えてい
たことが思い出されます。

四年前に山田克明さんの誘い
を受けて、道南会に入会。学校
の統廃合や函館の大合併も入会
後知る始末です。

函館は意識の上でも遠い存在
でしたが、数々の会合に参加の
回数を重ねるに従い、また会長
ご夫妻、役員の方々の並々なら
ぬ情熱に呼び戻され、函館人と
しての自信が今にして甦った想
いしております。

青少年健全育成の地区委員長
も勤めましたが、ボーイスカウ
トやガールスカウトのような奉
仕、訓練の場が欲しいと思いま
すが……。



インターネットで「はこだて人物誌」というページを開くと、幕末明治以来、函館の発展につくした歴史上の人物が二百数十人紹介されていることをご存知の方も多いと思います。このページは財団法人函館文化・スポーツ振興財団の情報誌『ステップ・アップ』新一九九二年から連載されている人物情報を整理してネット上に公開しているもので、冊子体の資料と違い、人物中心に函館の歴史を手軽に読める、じつに便利な情報源といえます。

ギタリストの秋山富雄から始まって評論家の渡辺紳一郎まで、一人平均二千字ほどの紹介記事が、氏名の五十音順に並べられています。職業・肩書きはまことに多彩ですが、以前、必要があつて調べたところ、圧倒的に多かったのは「実業家・政治家」で全体の四分の一を占めていました。実業と政治がセットなのは昔も今もいえることがもしませんが、とりわけ発展期には一人二役どころか一人数役、まさに八面六臂の働きをした人が少なくなかつたように見えます。

次に多いのが「作家・文士」で、石川啄木、亀井勝一郎はじめ約一割強。そして「学者・教育者」「画家」と続きます。時代を表しているのが十名近い「お雇い外国人」ですが、その他「亡命ロシア人」や「探検家」、あるいは「フランス軍人」など、土地柄も合わせて、いかにも函館という感じがしませんか。こんな調子で多士済々、以下、数は少なくとも「写真技師」「宗教家」「コメディアン」「呼び屋」「予言者」「映画・演劇」など、近代的発展のなかで何とも躍動的な函館の姿が現れてくると思ひました。



男爵資料館

ここに登場する人物はそれぞれ魅力たっぷりの逸材ばかりですが、今回はその中である共通点から二人ほどを取り上げて紹介してみたいと思います。



福沢諭吉肖像

川田龍吉 男爵 JR海峽線の渡島当別駅から三分、男子修道院に登る道の手前に「男爵資料館」があるのをご存知でしょう。ゆつたりとした敷地に、しゃれた装いのレストランに足を運んだ方も多いのではありませんか。安政三(一八五六)年、土佐藩士の長男に生まれた川田龍吉は若くして英国に留学し、スUTTONランドの農村でじゃがいもに出会います。縁あつて男爵位をつぎ、明治三十九(一九〇六)年函館ドックの専務として来道した彼は、造船業のかたわら七飯村に買った農地で馬鈴薯作りに精を出し、ドック退職後の残された生涯を北海道農業の近代化のためにささげました。ここで成功し、みづから「男爵」と名づけた品種が日本を代表するものになったことは有名です。

柳田藤吉 もう一人は幕末の箱館経済の基礎作りに貢

天保八(一八三七)年に岩手の盛岡で生まれ、江戸、大阪、長崎の各地で修業したあと、安政三年、下田とともに箱館が開港した際に、商業に専念すべく居を定めました。大豆や昆布の商いで大成功を収めて外国貿易の基盤を作り上げた功労者ですが、函館市内の願乗寺川筋(今の高砂通り)で天然の水を伐採して横浜に輸出し、「函館氷」の名を広めたことでも知られています。のち根室に移り、漁業を中心に巨万の富を築いて「根室王」とも呼ばれました。

ところで、この二人には福沢諭吉と浅からぬ縁があることをご存知でしょうか。福沢は維新の激変をへた日本で生きるために最も大事なものは「独立自尊」、つまり他の何物からも影響されず、自ら判断し行動する強い精神であり、そのような若者を育てあげる必要だと考え、そのために慶応義塾を作りしました。義塾からはのちに日本の政治・社会をリードする人物が輩出しますが、川田もその一人でした。政治よりも実業が大事と考えていた福沢の精神は川田にも継承されていたと思われま

柳田は義塾と直接のつながりはないものの、教育にも強い関心があつたよう、事業のかたわら、東京・早稲田に開いた北門社という塾の分校を函館に作り、そのとき社会貢献や経営という面で福沢に相談し、いくつもの助言を得ています。

二人の間で交わされた手紙が確認されたのは最近のことです。

福沢と函館の関係はこの二人にとどまるものではありません。すでに明治二十年代に函館慶応義塾同窓会が蓬萊町の中島楼で開かれたという新聞記事もあるくらいです。

今でこそ函館 東京間は飛行機で一時間ですが、百五十年前の日本の夜明けの時に一千キロの距離をもとせ、地域からの国創りが着々と行われていたということ、あらためて思い起こしてみたいものです。

はこだて人物誌①
福沢諭吉と函館

道南会会員 沢株 正始
幸小学校出身



川田龍吉



川田龍吉 男爵 JR海峽線の渡島当別駅から三分、男子修道院に登る道の手前に「男爵資料館」があるのをご存知でしょう。

柳田藤吉



柳田藤吉 人は幕末の箱館経済の基礎作りに貢

平成22年新年総会・懇親会

平成二十二年の新年総会・懇親会は、二月六日(土)十二時三十分より、東京都千代田区内幸町の日本プレスセンタービル十階ホールで、来賓・関連団体・会員など百四十五人が出席して行われた。



新年総会
総会
は、島
田瑞子
幹事の
司会を

行われ、最初に、川守田孝平会長が年頭のあいさつとして「我々道南会員は、北海道に生



まれ育った。北海道及び道南のために常に何ができるかを考えている。なお、道南会は、本年七月に創立五十周年を迎える。そして、来年一年は五十周年関連行事として、一月に記念式典を、五月にはふるさと訪問旅行、五十年記念誌の発行を三本柱に事業を展開する。これらの諸事業に対し、会員の皆様のお知恵を拝借すると同時にご協力をお願いしたい。この五十周年を契機に会員の若返りのために若い人たちに入会を勧めていきたい」と述べた。

次に、谷澤廣函館市副市長、金山正智函館市文化スポーツ振興財団理事長などの来賓を紹介した。

来賓を代表して、谷澤副市長が「道南会の皆様には、日頃から、観光PRや企業誘致にご協力いただき感謝している。昨年の函館港開港百五十周年記念事業として八月に緑の島で記念イベントを開催したが、延べ十三万三千五百人の市民や観光客が参加して大いに盛り上がった。また、魅力ある都市を決める「地域ブランド調査二〇〇九」で、函館市が全国千以上の市区



町村、地域の中で、日本で最も魅力ある都市に選出された。日本でも最も古い函館競馬場が二年間の改修工事を経て、六月にリニューアルオープンする。五稜郭公園内に復元工事を行っていた箱館奉行所が七月二十九日に開業するが、競馬場と箱館奉行所は新たな観光スポットとして期待されている。また、十二月には、東北新幹線が新青森まで



延伸するが、それに伴って観光客の増加が期待される。複数の企業が函館に進出して来るほか、四月には大原学園が駅前に開校することが決まっている」と、函館の近況を報告した。

続いて、金山函館市文化スポーツ財団理事長が「昨年九月二十日に東京・浅草公会堂で、市民劇・ミュージカル、案山子物語」を上演。多くの皆さんに見ていただいた。改めて御礼申し上げます」と述べた。

続いて、総会議事として、葉袋泰副会長が二十一年の事業報告と決算報告、二十二年の事業計画、新山春一監事が監査報告を行い、原案通り承認された。

総会議事終了後、田沼修二名誉会長の発声で、会の発展と参加者の健康を祈念して乾杯。祝宴に移った。会場内には函館市の観光ポスターが多数貼られて雰囲気盛り上げたほか、各所で函館弁が飛び交う中、賀詞交

換や挨拶が交わされていた。祝宴の半ばには、十三人の新入会員が紹介された。そして、新入会員を代表して早稲田大学応援部の澤村立君が、道南会の一層の発展のためのエールの音頭を取った。

恒例の福引抽選会では、函館市とサッポロビール、観光コンベンション協会などから提供されたワインやチーズケーキ、エアドウの東京・函館往復航空券や脳ドック無料受診券など多数の景品が用意され、賞品が当たる度に各テーブルから歓声が上がった。会場内は大いに盛り上がった。

抽選会の余韻が残る中、沼崎貞良副会長の一本締めで中締めをし、次回の再会を約して午後三時三十分過ぎ閉会した。なお、参加者にはお土産として、函館塩ラーメンが配られた。



新年総会出席者

【来賓】

函館市副市長 谷澤 廣

函館市観光

コンベンション部部长 鈴木 敏博

函館市観光

コンベンション部参事 広部 卓也

函館市文化スポーツ振興財団

理事 長 金山 正智

函館市文化スポーツ振興財団

専務理事 池田 英治

関西函館を思う会会長 富士 昭一

北海道東京事務所長 川城 邦彦

北海道ふるさと会連合会会長 伊野 達哉

サッポロビール㈱ 広域営業本部

営業推進統括部専任部長 倉持 幸一

北海道国際航空㈱

東京支店主席 八木澤和夫

【参加者】

青木登喜、朝倉敏夫、安達昌子、荒木道雄、石戸六男、石畑きね子、泉 龍夫、板垣寿見子、井上善子、今井 清、梅田やよい、小川アイ子、荻野幸平、小



山内八重、尾田アツ子、小野寺文男、小山 光、角田素子、笠川雅彦、金谷忠勝、金谷博治、金柿陽子、川小ヒナ子、川瀬俊吉、川守田孝平、川守田礼子、簡 和弘、菊池紀邦、工藤正昭、木谷勝子、郷内 繁、神山茂郎、小崎みづる、小助川昭一、小西康雄、小林寅雄、小林嘉則、小森良彦、小山和彦、坂本保子、佐久間正弘、桜井正光、櫻川梅房、佐々木静子、佐々木豊子、佐藤妙子、佐藤則道、佐藤マサ、澤株正始、澤株尚子、澤村 立汐谷 進、柴崎貴子、柴田 孝、波田勝弘、島田瑞子、下坂美織、神 れい子、新谷和子、新谷義克、菅 愛子、菅原大作、菅原靖、杉田博子、須藤珠実、相馬滋、染木トシ、高木晃一、高木清子、田代沙智子、田沼修一、田村治雄、田村保子、塚本善夫、敦澤義彦、鶴本支郎、寺田耕治、照井陽子、時田厚子、富岡信夫、豊田利雄、豊田みさ子、鳥本玲

子、中川和彦、中島恒也、中島利夫、長島 康、中村聡子、中村 崇、中村隆俊、中山泰詩、納代鉄也、波間省三、成田きよえ、成田慶子、新山春一、沼崎貞良、沼崎茂子、根来美和子、英 慶子、濱片志津子、濱 光徳、原ヒエ子、比嘉裕子、東川正秀、東川満子、日比野朋子、檜森元元、福島 紀、福津達男、藤山秀樹、古井勝春、古谷桂子、北條義真、本間和吉、本間作喜、前田純孝、松浦和彌、松田洲平、松村 茂、三国比左男、三品真紀子、水島敏夫、葉袋 泰、南谷光一、三村寿雄、宮島ひろ、向山慶宗則、村里正子、元田進、森岡偉行、八鍬 武、八鍬優子、安田康次、安本淑子、山木和子、山田克明、山本久子、若林孝夫、渡邊一朗、渡邊宏司、渡部良孝



ふるさと会 同窓会 の活動状況

- 函館東高校青雲同窓会 五月二十九日(土) 参加者二〇名
- 四谷弘演会 五月三十日(日) 参加者一〇名
- 東京大森会
- グランドアーク半蔵門 大谷高校同窓会 六月十三日(日) ラフォーレ
- 東京東川会 六月十九日(土) ライオンクラシックホール 参加者五十九名
- 東京大沼会 六月二十六日(土) 東京メトロ深川総合運動場 参加者四十名
- 東京函商同窓会 七月三日(土)
- 日本外国特派員協会ホール 参加者一七六名
- 東京上磯会 十月十七日(日) 東海大学校友会館 幸小・常盤小、合同同窓会 十月二十三日(土) 十二時四十五分
- ベルシー又竹芝銀座アスター 白楊同窓会 十月三十日(土) 十四時、お茶の水
- 「ホテル東京ガーデンパレス」 函館工業同窓会 十月三十日(土) 午後一時
- ホテルラングウッド 遺愛同窓会東京支部 十二月三十日(金) アイビーホール青学会館

新入会員紹介

石戸六男(新川) 薬袋泰副会長の紹介

井上善子(青柳) 新谷義克顧問の紹介

角田素子 東京かみのくに会の紹介

金谷忠勝 三村寿雄常任幹事の紹介

佐久間政弘(弥生) 前田紘孝さんの紹介

澤村 立(北斗市・市渡) 新谷義克顧問の紹介

下坂美織 (函館白百合学園高校卒)

塚本善夫(青柳) 田代沙智子さんの紹介

富岡信夫(弥生) 笠川雅彦さんの紹介

中野聡子(千代ヶ岱) 小林嘉則常任幹事の紹介

前田紘孝(柏野) 柴田孝さんの紹介

元田 進(青柳) 小林嘉則常任幹事の紹介

安本淑子(幸) 函館市西尾市長の紹介

佐藤妙子さんの紹介



石戸六男 塚本善夫



元田 進 中野聡子 下坂美織 澤村 立 井上善子 安本淑子 富岡信夫 前田紘孝 佐久間政弘 金谷忠勝 角田素子

平成21年度収支報告書 (自平成21年1月1日至21年12月31日) 北海道道南会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越高	460,636	行事費	1,968,883
年会費	574,500	通信費	152,981
行事会費	1,951,600	印刷費	285,915
寄付金	65,000	消耗品費	13,551
広告協賛費	48,000	交通費	127,600
雑収入	14,500	会議費	47,404
受取利息	277	会費	10,000
前受金	60,000	交際費	58,290
		広告費	36,000
		寄付費	70,000
		雑費	3,591
		支払手数料	14,935
		前受金	84,000
		次期繰越高	301,363
合計	3,174,513	合計	3,174,513

次期繰越金内訳

現金	¥48,653
普通預金	¥212,110
振替口座	¥40,600
合計	¥301,363

特別会計 特別積立基金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越高	1,002,808	次期繰越高	1,004,814
受取利息	2,006		
合計	1,004,814	合計	1,004,814

監査報告書

平成21年度決算報告書について、帳簿及び証憑書類を監査した結果、適正かつ妥当に処理されていることを認めます。

平成22年1月29日

北海道道南会 会計監査

新山春一 (新)

函館市民が作る映画が3月クラシクアップ
『海炭市叙景』
待たれる上映・12月全国一斉上映

パブル期に描いた貧しさ

若い兄妹が新年を祝おうとしていた。一枚のかき揚げを二つに割ってどんぶりに盛った年越しそばを妹が運んで来る。「食うべ」と兄が嬉しそうにうなずく。兄は不況で造船所の仕事を失った。頼れる肉親はいない。不安に沈む心を、せめて新年を迎える瞬間だけは浮き立たせようと、いたわり合う場面だ。

『海炭市叙景』は函館を舞台に5組の人間模様を描く。貧しい兄妹の悲劇は原作の中でも冒頭に置かれた象徴的なエピソードだ。



「老女の話」のワンシーン

開発地からの立ち退きを拒み家に居座る老女の話。親から受け継いだ燃料店を背負って空回りする青年。娘の出産を待ちながら市電を運転する初老の運転士等、函館ならではの話の積み重ねが、紛れも無く今の疲弊した地方都市に生きる人々の痛みとして映画化された。

（日経新聞アート探究から抜粋）

函館市民が役者に

映画化を企画したシネマアイリスの菅原さんや、実行委員会の西堀さんを始め、多くの函館市民が500人も出演したり、裏方をして参加協力した映画『海炭市叙景』が3月20日に撮影を終えました。

今は仕上げの編集にかかっているところですが、10月26日には函館市芸術ホールで完成試写会が開催され、函館を皮切りに12月には東京でも公開される事になりました。

道南会の皆様にも資金協力をしていただきありがとうございます。



新年ご来光のエキストラシーン

た映画は数多くあるとはいえず、必ずしも函館でなくてはならない設定ではなかったのが今迄に作られた映画でした。

函館と言う街は映画的なロケーションにとっても向いているという事もあります。2009年の魅力度ナンバーワンにも選ばれた位に観光的に恵まれて、特殊な雰囲気を持った都市であると思います。実態としては函館ドックが無くなり産業的には不況の波を被っているわけですが、まさしく函館出身の佐藤泰志が1990年自死に至る頃、パブル崩壊に因る日本経済の破綻を予測したかのような遺書的小説に思えてなりません。

海炭市は架空の町ではなく函館そのものであり、市民によって作られ、市民自身が演じているというはじめての試みで映画が作られた事に大きな意味があります。



撮影終了を祝うスタッフ・キャスト

佐藤泰志の世界は決して明るく生きる生活を描いてはいませんが、人は何処にあっても一生懸命生きて行くものだと思わされて教えられる。観光都市として脚光をあびる側面の一方、函館の現実には不透明な状況が続いています。

この映画は五つのオムニバスが交錯しながら群像劇になっていて、普通の人々の市民生活が描かれています。本来、明るく人の良い函館人がいるような場面で重要な役(老婆の役他)を演じているのが見どころです。

西野・東洋、あらゆるものが入り交じった函館の風土の中で育った佐藤泰志の最後の小説を、帯広出身の道産子監督熊切和嘉がどんなふうに函館を切り取って見せてくれるのか、興味深く、上映が待ちどおしいと思います。

(小林嘉則記)

映画「海炭市叙景」
東京でイベント

東京・西荻窪で毎月開かれる読書イベント「西荻ブックマーク」は、9月12日に、佐藤泰志の文学「再び」を予定している。内容は未定だが、映画のダイジェスト版や製作過程を描いたメイキングファイルの上映、関係者の証言を考えている。

事務局を務める西荻窪の古本店「古書音羽館」経営の広瀬洋一さん(45)によると、佐藤の著作はクレイン(東京)が2007年に出版した、佐藤泰志作品集を除いて絶版で読めない。広瀬さんは、時代を経て浮かび上がる作家として、佐藤泰志をもっと知ってほしいと期待する。

また、生前の佐藤を知る東京在住の仲間が11月3日、佐藤の住んでいた東京・国分寺で、映画のダイジェスト版上映や作品の朗読会などを催す。

その一人、渡島管内松前町出身のフリーライター井田幸子さん(58)は、函館西高で佐藤の2年後輩だった。

「海炭市叙景」について、希望の見えない中、うっ屈した生活者の心情が描かれている」と言い、不況で厳しい状況に直面する若者が共感すると指摘する。

ふるさと・同窓会だより

東京奥尻島人会

総会・懇親会

葉袋 泰

「第37回東京奥尻島人会総会&新春懇親会」は、平成22年2月21日(日)サンケイプラザ「4Fホール」で、13時より会員91名、来賓17名が出席して盛大に



開催された。

総会では、和田穂積会長の挨拶のあと、新村卓実奥尻町長など来賓の方々の祝辞が続き、特に新村町長より奥尻町の現況と今後の町政の方針についての報告がなされた。続いて麓敏也議長の乾杯のご発声により祝宴に移った。

会場では、奥尻島のPRの映像が映し出される中、特産品の販売が行われた。舞台では鎌田英一民謡歌手による、民謡、歌謡曲が披露され、また、カラオケ等、などの余興で盛り上がり、更には奥尻珍味お楽しみ抽選会で会場は更に盛り上がりを見せた。

東京奥尻島人会では昨年も板橋区役所から声がかかり12月5・6日中板橋商店街の年末セールの特例イベントに上の国ふるさと会の役員と協力し、奥尻町および上の国町の物産販売に参加して協力した。また、7月の奥尻島室津祭りに毎年参加ツアーを実施し、昨年は22名が参加した。今年も計画、募集中。

東京ふるさと七飯会

総会

葉袋 泰

平成二十二年「東京ふるさと七飯会」の第二一回記念総会は七飯町長選の関係で、例年より遅れ四月十七日(土)正午、上野の伊豆栄本店で開催された。五十名の会員中一八名が出席。来賓として郷里七飯町から竹田博正副町長が出席され郷里の現



況等を報告された。

特に、姉妹都市、米国・マサチューセッツ州コンコード町から高校生を中心とする訪問団一〇一名が一七日から二十二日迄の日程で来町し、ホストファミリー七〇家族にご協力をいただき九三名がホームステイをする中で、いろいろな行事が行われる事となっており、中宮町長は、本日函館大沼プリンスホテルで行われる訪問団歓迎会、ホストファミリー対面式出席のため、本総会を欠席することとなった。一九日には、コンゴドカライル高校コンサートバンド、七飯中学校吹奏楽部、大中山中学校吹奏楽部、七飯高校吹奏楽局による親善コンサートが文化センターで行われる等詳細の報告があった。

北海道道南会から川守田孝平会長が出席され会員との交流をはかられた。

藤谷末松顧問の乾杯により懇談に移る。ふるさとの新種ワインで喉を潤し、和氣あいあいの語らいが続き、楽しいひとときを過ごし、故郷のお土産を手に散会した。

北海道福島会

定期総会

川守田 孝平

平成二十二年四月二十四日(土)、北海道福島会第十回総会・懇親会が、アルカディア市ヶ谷で開催された。会員、来賓併せて百名近い方の出席があり、盛大な催しであった。

角谷和雄会長の挨拶のあと、村田 駿町長から福島町の近況報告のほか、全国から力士が集まって五月に行われる「第二十回北海道女だけの相撲大会」の話などがあり、故郷の懐かしい話題に、会の皆さんが熱心に聞き入っていた。

御来賓の中に、榎本隆充東京農業大学客員教授や、日本相撲協会の九重親方が出席されていたが、榎本客員教授から、幕府海軍副総裁、榎本武揚が官軍に降伏してから、囚われた獄中の中で御母堂にあてた手紙や、獄中詩などが披露され、九重親方からは、夏に福島町で行う九重部屋の合宿の計画などがお話された。

懇親会で和やかに歓談が続けられる中、アトラクションや恒例の福引抽選が行われ、会場の皆さんは景品に一喜一憂、賑やかに一年ぶりの会が締めくくられた。

東京かみのくに会

定期総会

川守田 孝平

平成二十二年三月二十七日(土)、第十三回東京かみのくに会総会が、上野のホテルパークサイドで、会員来賓併せて約九十名が出席して開催された。

総会は森山光夫会長の挨拶で始まり、工藤 昇上ノ国町長から、上ノ国町の状況について詳しく報告がなされた。

その他、若狭町議会議長や市山ひやま漁業組合組合長から故郷の近況が話された。

又、故郷への応援方策の一環として、会から上ノ国町へ「自働体外式除細動器(AED)」やつつじ植樹、かしわ苗などを寄贈することが報告された。

懇親会に入ると、会員手づくりのスライド「上ノ国町風景」が画面に映し出され、皆懐かし故郷の風景に見入っていた。テーブルの上には、まめ漬けや「鮭の飯脩」など故郷の味覚が並び、別のコーナーでは、上ノ国町の珍しい特産品が販売されていた。

それぞれの皆さんが楽しく親交を深める中、福引抽選会が行われ、最後に全員参加の上ノ国音頭で懇親会は、別れを惜しみながら終わりを告げた。

『北海道ふるさと会』

連合会『便り』

連合会担当 三村寿雄

北海道の各ふるさと会相互の親睦を図ると共に、郷土北海道の発展に寄与することを目的に、それに賛同したふるさと会の団体です。

年間行事として新年交礼会・サッポロビール納涼会(7月3日・9月4日)産直代々木フェア(10月1・2・3)連合会会報発行(11月下旬)親睦旅行(23年2月中旬)総会(23年4月23日)と年間事業を計画予定しています。

「道南会」も会員となつて、事業部の理事として主にサッポロビール納涼会・親睦旅行の計画取り纏め等をしていきます。随時事務局の方に連絡をしますのて、是非他のふるさと会との親睦を深めて行くつもりではありませんか。



追悼 道南会監査

瀬田松吉昭さん

瀬田松吉昭君を偲んで

道南会会員 長島 康
柏野小学校出身



道南会の会計監査を通じて、会の発展のために尽くしてこられた瀬田松吉昭君が、平成二十二年四月八日膀胱がんのため逝去されました。翌九日、ご子息から、昨日、父が冥界に旅立たれたと聞かされ、残念無念の思いでした。

ここに御霊の安からんことをお祈りするばかりです。思うに、昨年三月三十日、我々同期の仲間・二上、福津、東川諸兄等と一緒に、新宿御苑の花見に行き、満開の桜の美しさを堪能しました。その帰り際に会食したところ、彼から「膀胱がんが見つかり、手術不能の箇所なので抗がん剤治療を六月か

ら始める」と告げられました。その後、抗がん剤の若干の副作用を克服され、順調な治療かと思われましたが、本年に入って抗がん剤が効かなくなり、二度ほど中止の話に彼も落胆した模様でした。

その頃から、痛みと苦しみ、食欲減退が始まり、緩和ケアすることになると言っていました。ちょうどお孫さんが東大受験中で、合格が元気の薬になるかと期待していましたが、合格の朗報を受けた時、一時的に気分を良くしたものの、快方に向かうことはなかったのです。

この世に神も仏もなきものかとの悲しい思いでした。瀬田松君は生来温厚篤実で、面倒見の良い好人物だけに、我々函中同期の仲間の信望も厚く、三十年の長きに亘り同期会の幹事役を引き受けてくれたり、大森小同窓会の発足に尽力し、会長として活躍されました。

そんなことから、平成十七年度道南会総会で会計監事に就任され約四年間監事として仕事に専念してきたことは周知の通りです。また、ふるさと訪問やゴルフ会にも積極的に参加し、会の伸張にも寄与してきました。

個人的には七十の手習いならぬ書道を習い、数年で師範の段位を取得するなど、努力家として

の面目躍如たる面もありました。好きなゴルフでは七十六歳で、中々達成できないホールインワンを実現し、お世話になった方々に記念カードを笑顔で手渡していたのも印象的でした。

また、見かけによらずサッカーファンで、浦和レッズのサポーターをしていました。息子さんに誘われたもので、浦和、大宮で実施のサッカーの試合はほとんど毎回、大阪まで遠征したこともあったようです。地元(浦和)の郷土愛から出たものですが、道南会における、郷土函館に対する愛着も、果てしなく、限りない、ものだとつくづく感じた次第です。

その彼と二度と会えない寂しさが、じんわりじんわりと胸に浮かんできます。重ねて心からご冥福をお祈りいたします。

瀬田松君さようなら。



膀胱がんが見つかり、手術不能の箇所なので抗がん剤治療を六月か



在りし日の瀬田松氏を囲んで

道南会行事報告

「新年総会・懇親会」(別掲)

二月六日(土)

午後十二時三十分開会
プレスセンターホール

新宿御苑・梅見の会

三月六日(土)

三日程前から続いていた強い
風雨のため、前日の五日までに
残念ながら中止を決定した。

新宿御苑・お花見の会
四月三日(土)



午前十一時、新宿御苑・新宿

門に集合。今年の春先は寒い日
が続いて桜の開花も遅れ気味だ
ったのが、ようやく開花宣言が
出て、しかも久しぶりに晴れた
週末とあって、大勢の家族連れ
や老若男女のグループが集合地
点の新宿門に集結していた。混
雑する苑内を十五分程ゆつくり
散策。芝生広場の外れに桜の花
が眺められるスペースを見つけ、
皆で円形に座って、昼食にした。
時々晴れ間がみえるもののまだ
冷たい風が吹いてはいたが、お
互いに持ち寄ったご馳走やお菓
子、お酒、ワインなどを酌み交
わしてしばらく歓談。懐かしい
函館弁での会話や故里の思い出
話などに花を咲かせた。昼食後
は、記念撮影した後、自由解散
とした。参加者三十三名。

明治神宮・菖蒲苑の散策

六月五日(土)

午前十一時、JR山手線・原
宿駅に集合。

定期的な、菖蒲の満開には早
かったものの、徒歩十分程のと
ころの菖蒲苑に入場。菖蒲苑内
では森の中の細い道を抜けて、
菖蒲田へ。菖蒲の花はまだ三分
咲き程度で見頃とはいえなかつ
たものの短い時間ながらしばし
の森林浴を楽しんだ。今、この
菖蒲苑の近くにある「清正井」
が幸運を呼ぶパワースポットと
して人気を集めており、井戸を



携帯画面の待ち受けにすると良
いということ、井戸を撮影す
るまでにおよそ二時間待ちとい
う状況にもかかわらず大勢の人
が明治神宮内を散策していた。
菖蒲苑を散策した後、おおよそ
二十分程歩いて代々木公園へ。
林の中の広場に敷物を敷いて車
座になり、昼食に。梅雨入り前
の日差しの下で、思い思いに持
ち寄ったご馳走や飲み物などを
飲み交わしながら歓談したが、
やはり話題の多くは函館時代の
思い出などに花が咲いていた。
昼食後もしばらく歓談した後、
記念撮影をして散会した。参加
者三十二名。

第七回道南会ゴルフコンペ
七月六日(火)

年に一度のゴルフコンペが、
七月六日(火)、埼玉県日高市高
萩の日高カントリー倶楽部で、
五組十九人が参加して行われた。

この日は、梅雨の合間の曇り
空で蒸し暑く、前日には都内の
一部地区で集中豪雨があって、
雨も心配されたが、まずまずの
コンディションの中で熱戦が繰
り広げられた。

成績は、初参加の佐々逸雄氏
が、40、45、グロス85、ハンデ
キャップ12、ネット73で優勝。
ベストグロス賞も併せて獲得し
た。二位は金子公彦氏、三位は
金谷忠勝氏だった。



編集後記

今年七月で、道南会は創立五
十周年を迎えました。来年は、
五十周年を記念事業として、一
月には記念式典、五月にはふる
さと訪問旅行、八月には五十周
年記念誌の発行を予定していま
す。

一九六〇(昭和三十五)年の
道南会創立当時の状況を詳しく
ご存じの方はほとんどおられま
せんし、その後の歴史や歩みな
ども、二十五年、三十年、四十
年などの記念誌などで断片的に
しか知ることができなくなつて
きております。そこで、来年発
行予定の「五十周年記念誌」で
は、道南会の歴史と歩みをして
るだけ詳しく紹介したいと考
えておりますので、ご期待いた
だきたいと思っております。

創立五十周年記念事業につ
いて、ご意見やご要望などがあ
れば事務局までお寄せくださ
いますようお願いいたします。

会報「道南」

二十二年・夏号・通巻52号

発行 平成二十二年八月一日

発行所 北海道道南会事務局

横浜市鶴見区生麦

四九 十三 八〇三

川守田 氣付

印刷所 富士製版印刷株式会社

世田谷区下馬四十七七七